

鎌倉市一般廃棄物処理施設整備のあり方  
について（答申）

平成19年3月

鎌倉市生活環境整備審議会

はじめに

1 一般廃棄物処理施設整備の基本的視点

- (1) これまでの取り組み
- (2) 今後の資源化の方向性と施設整備
- (3) 単独処理の限界とごみ処理広域化の必要性
- (4) 資源化と民間委託

2 生ごみ資源化施設

- (1) 生ごみの資源化の意義と効果
- (2) 生ごみ資源化の方式
- (3) 新たな資源物としての生ごみ資源化
- (4) 生ごみ資源化と施設の課題
- (5) 市民説明のあり方

3 焼却施設

- (1) 新たな資源化による焼却量の推計
- (2) 焼却施設のサーマルリサイクル
- (3) 広域の焼却施設の課題
- (4) 名越クリーンセンター、今泉クリーンセンターの今後

4 植木剪定材の資源化

- (1) 排出量の推計と資源化の方法
- (2) 民間委託による資源化

5 不燃・不燃性粗大、非容器包装プラスチックの資源化

- (1) 不燃・不燃性粗大ごみの処理の現状と目指すべき方向
- (2) 非容器包装プラスチックの資源化

## 6 焼却灰の熔融固化処理と最終処分場

- (1) 焼却灰の熔融固化処理の現状と今後の見通し
- (2) 最終処分場の今後

## 7 笛田リサイクルセンターの今後

## 8 深沢クリーンセンターの今後

- (1) し尿処理の現状と下水道終末処理場(以下「浄化センター」という)への直接投入
- (2) 深沢クリーンセンターの廃止の可能性と跡地の利用

## 9 まとめ

## 参考資料